

報道関係各位

2015年2月21日

寺田倉庫がシンガポールの輸送会社、ヘルトランスとパートナーシップ契約を締結 アジアの現代アートシーンを牽引する企業との協業でアート事業の海外展開を目指す。

寺田倉庫(東京都品川区)は、美術品などを保管する最高水準の施設を持ち、国際的なアートフェアの会場としても広く使われるギャラリー・アートスペースも展開しているシンガポールの輸送保管会社、HELU-TRANS(39 Keppel Road, #02-04/05Tanjong Pagar Distripark, Singapore/以下、ヘルトランス)とのパートナーシップ契約を2015年4月1日に締結。国内のみならずグローバルにおけるアート事業への展開を目指します。

【本パートナーシップの目的】

当社では現在、アートに関する展示、保管、シンポジウムなど様々な事業を行っており、さらに国内の若手アーティストが海外進出するための足掛かりにさせていただくアート・アワードも行っています。

現在、シンガポールでは、毎年開催されているアート・ステージ・シンガポールや、国立新美術館「ナショナル・ギャラリー・シンガポール」の設立、国際的なアートの展覧会、世界各国のギャラリーを集積させたギルマンバラックスを展開するなど、アートにおいてアジアの中心となっています。

本パートナーシップ契約は、香港、中国、台湾、インドネシア、マレーシアほか、アジアでのアートシーンを牽引するシンガポールに拠点をつくり、当社のアート事業における海外進出の第一歩となることを目的としています。

一方、アジア進出を見据えるヘルトランスのアート事業にとって、物流、金融の面で長けている日本でのマーケティングは不可欠となっており、現在、日本での拠点を持たない同社にとっては、本パートナーシップは、アジアの文化全体におけるハブの役割を果たす大きな一歩となりえます。

【具体的な取り組み】

現在、当社では、東京都品川区に税関手続きも不要、保管品は免税対象となるサービス、保税蔵置場を展開しています。当サービスは、海外から輸入された美術品を関税や消費税がかからず保管でき、そのまま転売することも可能な施設となっています。当サービスをご利用のお客様より、海外にも保管の拠点をもちたい、日本国内から海外へ美術品を保税状態で輸出し販売する方法はないか、などの問い合わせも多くいただいております。

そこで、シンガポール・チャンギ国際空港から直結する場所に保税倉庫を持つヘルトランスと組むことで、そのような要望にも応え、お客様にとっては、窓口一つで国内から海外への保管を保税状態のまま手間をかけずに行えることが可能となります。

当社では、本取り組みにより、初年度の美術品の保管数1000点弱を見込んでいます。さらに、当社のアート関連事業は、今回の取り組みを皮切りに、アジアをはじめ海外に拠点をつくり、世界的に展開していく予定です。

■寺田倉庫株式会社

代 表 者 社長執行役員 CEO兼COO兼CCO 中野 善壽

本社所在地 東京都品川区東品川2-6-10

設 立 1950年10月

事 業 内 容 トランクルーム事業、データストレージ事業、不動産事業

■HELU-TRANS PTE LTD

代 表 者 Ida Ng

本社所在地 39 Keppel Road, #02-04/05 Tanjong Pagar Distripark, Singapore 089065

設 立 1979年

事 業 内 容 美術品の輸送・保管、ギャラリー運営

【報道関係からの問合せ先】

株式会社エンパシージャパン TEL:03-6721-1588 担当:仁地 090-2226-6459 ninchi@empathyjapan.co.jp

寺田倉庫 広報・催事グループ 広報チーム TEL:03-5479-1651 pr@terrada.co.jp